

関係各位

島原中央高校  
女子バスケットボール部  
顧問 川 渕 龍之介  
コーチ 山 崎 純 男

令和7年度 皇后杯予選 結果報告 (最終日=20日)

- 1 場 所 佐世保
- 2 期 間 令和7年10月18日(土)・19日(日)・20日(月)・26日(土)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール			1日目				長崎東				2日目				佐世保商				2日目				鎮西				3日目				延長				長崎西				5戦目			
#	名前	年	身長	出身	S	時間	FG	FT	点	P	S	時間	FG	FT	点	P	S	時間	FG	FT	点	P	S	時間	FG	FT	点	P	S	時間	FG	FT	点	P	出場分	得点						
4	新 粥	3	165	佐世保相浦	S	15	10/16	0/0	20	2	S	24	4/11	0/0	9	2	S	35	8/11	0/0	18	2	S	34	16/17	1/1	15	2					2	32分20点								
5	濱 田	3	158	横浜市旭が丘																															05分00点							
6	高 松	3	163	福岡県太宰府		26	13/17	0/0	26	1		10	2/3	0/0	4	1		20	6/9	0/2	12	1	S	28	2/7	1/2	5	0					0	38分22点								
7	奥 野	3	165	長崎県千々石		26	6/13	0/4	12	2		11	0/2	0/0	0	0		7	6/13	0/0	0	0	S	9	0/3	0/0	0	1					1	31分11点								
8	吉 田	3	174	佐賀県鏡中		9	1/3	2/2	4	0		4	0/2	0/0	0	0		5	0/1	0/2	0	1	S	5	1/2	2/2	2	0					0	10分05点								
9	荒 井	2	155	兵庫県折尾中	S	10	3/4	0/0	6	1	S	28	4/10	0/0	11	0	S	27	1/5	1/1	3	1		35	3/4	0/0	2	2					2	07分07点								
10	浅 野	2	170	群馬県折尾中																														リハビリ								
11	大 倉	1	171	熊本市竜南中		16	5/6	0/0	10	0		7	2/3	0/0	4	0																										
12	窪 田	2	163	佐世保福石中		14	5/9	0/0	11	0		9	2/3	2/2	6	0									9	0/1	0/0	0	1													
13	生 田	2	155	北九州城南中	S	20	2/3	0/0	4	1	S	28	5/8	0/0	13	0	S	32	4/8	4/5	12	1		25	0/2	0/0	0	1					1	26分08点								
14	橋 本	2	155	鹿児島串木野		24	4/7	1/2	10	2		24	5/11	1/2	12	1		30	3/9	1/4	8	0		25	2/8	1/2	6	2					2	12分04点								
15	カマラ	3	182	セネガル O		2	1/1	0/0	2	0	S	18	15/20	1/1	32	2	S	34	1/1	4/5	26	3	S	39	16/30	4/8	37	2					2	抹消								
16	松 岡	3	170	佐世保山澄中		10	1/3	2/2	4	1		4	0/1	2/2	0	0			0/0	0/0	0	0		7	2/2	2/2	4	2					2	09分00点								
17	榊 原	2	165	豊川市音羽中	S	13	5/7	0/0	11	0	S	15	1/4	0/0	3	0	S	10	0/1	0/0	0	2		3	0/0	0/0	0	1					1	07分02点								
18	松 尾	2	171	佐世保福石中	S	15	5/7	0/0	10	0		18	3/9	0/0	6	1			0/0	0/0	0	0	S	6	0/0	0/0	0	1					1	10分02点								
					1P	200	31		9	200	27		11	200	17		15	225	15		19	200分																				
左 : 島原中央					2P	39		8	36	17	26	13	17	14	81対44																											
右 : 相手チーム					3P	24		10	22	7	19	11	18	11																												
					4P	36		21	15	7	17	6	14	6	8	20																										
○=勝ち ●=負け					計	○	130		48	○	100		42	○	79		45	●	64		64	○																				

5 所 感

初日

カマラはもうコートに現れないと決めて布陣を考えました。3日前のことです。すると何の釈明もなく突然カマラはコートに現れたのです。その経緯はブログに書いてますのでそちらをご覧ください。その時に決めた布陣が今日のスタメンです。ご覧になってすぐ判るように「小さい!」です。その通り、高さよりも動きを重視した布陣です。小さくなくてもいいからスピード・バスケット勘・強い意志を優先に選びました。カマラは1秒たりとも出したくはなかったのですが、学校が招いた外国人留学生ですからどんなに許しがたい行為をしても、本人が出たいと言えばカマラを除外する権限は私にはありません。そこで約2分ほど出しましたがすぐ引込め「お前、俺の指導を受ける気が本当にあるのか?今のプレイはダメだとこれまでに何十回も指導したことだぞ!」と叱り飛ばしました。今の私のアタマの中にあることは明日からの試合が「悔しいけどカマラの高さが必要だ」という試合にならないことです。なんとしても小兵軍団で勝ち抜きたいということです。

2日目

今回の試合で唯一後悔しているのが今日の2試合目です。第1シードの鎮西を大差で破ったとき「東京に行けるぞ」と思いました。それが浅はかでした。勝負の世界に何年身を置いているんだと、自分を叱りました。勝負の世界はそんなに甘くありません。必ず反動があったり不調の波に翻弄されたりします。内部造反者はあとを絶ちません。それを忘れて浮ついてしまった自分をこの記事を書いている時点でまだ許せません。

3日目

終始どっちに転ぶか判らない展開でした。でも、こんな勝負に持ち込めたのはなんだかんだ言ってもカマラのおかげです。大会3日前に突然体育館にカマラが現れなければこんな試合はできなかったと思います。そういう意味では認めてあげましょう。でも心残りももう一つあります。濱田を東京に連れて行ってやらなかったことです。彼女は2年時に前十時靱帯を切ってリハビリ中でした。鎮西戦で確かな感触をつかめたので一層その思いは募ります。でも、勝負事に関わる指導者は選手の悔し涙を背負い込んで生きて行くのが宿命です。自分で選んだ道。前に進むしかありません。

最終日(26日)

今日の試合は勝っても東京には行けないのですが、全力で戦いました。世間の声(カマラが居さえすれば又はカマラさえいなければ...)を封じ込めたかったからです。結果は私が島原中央に関わり始めて半年の間に最高の試合でした。アッパレをあげたいです。だけど、3年生が出られる試合があと一つ残っています。皇后杯の二次予選です。これは、大人から学生まで各県の1・2位が出る試合なので勝つのは難しいのですが、勝ち負けではなく監督の目を釘付けにする試合をさせたいと思っています。文責:山崎